

共用品推進機構だより 2016年04月08日(02)

## 目次

### (6) 共用品推進機構関連記事

▽「ブログを更新しました！」

### (7) サービス関連記事

▽「膝曲がらない客、着席楽に ファミレス『藍屋』 座敷用カバー導入」

### (8) 行政関連記事

▽「マーク乱立 自治体、バラバラにPR」

▽「高齢者活躍推進 特別チーム設置 富山市、部局を横断」

### (9) その他、各種関連記事

▽「酒や酢の蔵を見学 和歌山の九重雑賀で」

### (10) 新刊紹介

▽『発達障害でもピアノが弾けますか?』

▽『子どものADHD早く気づいて親子がラクになる本

落ち着きがない、不注意、乱暴、忘れ物…子どもの「困った」を解消』

▽『障がい者が学び続けるということ 生涯学習を権利として』

▽『障害者差別解消法事業者のための対応指針〈ガイドライン〉

不当な差別的取扱い・合理的配慮の具体例』

---

### (6) 共用品推進機構関連記事

▼「ブログを更新しました！」

- ・シンガポールより来客
  - ・盲学校の合宿で共用品講座／日本盲導犬協会  
共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>
- 

## （７）サービス関連記事

### ▼「膝曲がらない客、着席楽に ファミレス『藍屋』 座敷用カバー導入」

ファミリーレストラン最大手のすかいらーくは和風ファミレス「藍屋」で、店舗や設備のシニア対応を拡大する。膝を曲げられないシニアを想定。座敷のテーブルの脚に着脱できる「座席カバー」を導入し、テーブルを高くしてイスを置けるようにする。同設備の導入を広げるほか店舗のバリアフリー化も進める。店舗改装時に導入を増やしていく計画だ。

座席カバーは2012年に落合南長崎店で試験導入。現在は7店舗まで広げており、今後は店舗改装時に導入を拡大する。あぐらをかいて座れないシニアもくつろげるようにする。店舗入り口のスロープやトイレに手すりを設置したり、靴を脱ぐ玄関部分にイスを設置したりして店舗設備面でもシニア対応を進める。

（日経MJ 4月8日9面より抜粋）

---

## （８）行政関連記事

### ▼「マーク乱立 自治体、バラバラにPR」

見た目は元気そうでも、体につらさを抱えている人たちがいる。そんな障害者や難病患者らが電車内や街中で適切な配慮を受けられるよう、身につけて周囲に知らせるマークが各地で生まれている。

いま、最も動きが活発なのは東京都だ。義足や人工関節を使用する人や難病の人、妊娠初期の人など援助や配慮が必要な人なら誰でも使える「ヘルプマーク」の普及にあたる。

昨年、新たに援助を必要とする障害者のための「サポートマーク」を作ったのが山口県だ。障害への理解を深める運動で連携する中国地方などの6県

に普及の協力を働きかけた。

10年以上の歴史を持つのが、心臓など体の内部機能に障害がある内部障害者らが作った「ハート・プラスマーク」。埼玉県や大阪府などは、これを啓発してきている。

兵庫県は内部障害者や難病患者らが使える「譲りあい感謝マーク」を11年に制定、独自に普及させている。

障害者への「合理的配慮」が官民双方に求められており、配慮をしやすくする環境の整備が急務となっている。

(朝日新聞 4月7日より抜粋)

#### ▼「高齢者活躍推進 特別チーム設置 富山市、部局を横断」

富山市は女性や高齢者の活躍推進に向けた施策づくりなどのため、部局を横断した4つのタスクフォース（特別チーム）を設置した。

女性活躍推進やシルバー世代（65歳以上）活躍推進プロジェクトチームを立ち上げた。このほか途上国での都市開発を支援するため同市と世界銀行との連携を目指すタスクフォースと、観光と健康を組み合わせたヘルスツーリズムの推進プロジェクトチームがある。各チームは7～12人で構成する。

(日経MJ 4月8日9面より抜粋)

---

#### (9) その他、各種関連記事

#### ▼「酒や酢の蔵を見学 和歌山の九重雑賀で」

酒や酢を作る蔵の見学会が2月20日、和歌山で開かれ、東京や大阪の全盲者や弱視者ら12人が参加した。

NPO法人グローイング・ピープルズ・ウィルが企画し、点字表示のある首かけラベル付きの酢やドレッシングなどを昨年発売した九重雑賀の協力を得て実現した。

まず、同社の雑賀俊光社長から「お酢は世界最古の調味料、和歌山は発酵文化発祥の地」と歴史や製法の解説を聞き、蔵を見学。酒蔵では原料の米750キログラムを蒸す直径1.2メートルの蒸し器や約7000リットルの仕込み用のタンク、もろみを混ぜるかいなどを触察。酢の蔵では、90～120日間以上、約38度で発酵・熟成させるため、わらで覆った約5400リットルの木おけに触れた。製

造中の香りや利き酒、利き酢も堪能した参加者からは「タンクの大きさや木おけの様子をじっくり確かめられた」「どれほど手をかけて作るかよく分かった」との声があがった。雑賀さんは「触ったり味わったりする大切さを再認識する機会になった」と振り返った。

(点字毎日活字版 3月31日3面より抜粋)

---

## (10) 新刊紹介

### ▼『発達障害でもピアノが弾けますか?』

いつまでも楽譜が読めない…。注意するとパニックに…。あちこちの教室に断られ、“中嶋ピアノ教室”にやってきた生徒たち。試行錯誤のレッスンを通じて、発達障害児と一緒に成長してきた10数年の歩みをコミックで描く。

原作：中嶋恵美子（なかじま・えみこ）

漫画：かなしろにゃんこ。（かなしろ・にゃんこ）

発行：ヤマハミュージックメディア

本体価格：1400円（税別）

ISBN：978-4-636-89935-1

### ▼『子どものADHD早く気づいて親子がラクになる本

落ち着きがない、不注意、乱暴、忘れ物…子どもの「困った」を解消』

落ち着きがない、不注意、乱暴、忘れ物…子どもの「困った」を解消！ADHDの子どもの特性から、ADHDの子どものつきあい方、診断と対処法まで、発達障害の臨床の第一人者がくわしく解説する。

監修：宮尾益知（みやお・ますとも）

発行：河出書房新社

本体価格：1400円（税別）

ISBN：978-4-309-24756-4

### ▼『障がい者が学び続けるということ 生涯学習を権利として』

これまでの障がい者の生涯学習の実践と理論を総括し、これからの障がい者の生涯学習を展望することを通して、停滞・昏迷するわが国の生涯学習の現

状を克服し、脱皮・再生する道を探す。

編著：田中良三（たなか・りょうぞう） 藤井克徳（ふじい・かつのり）

発行：新日本出版社

本体価格：1700 円（税別）

ISBN：978-4-406-05979-4

▼『障害者差別解消法事業者のための対応指針〈ガイドライン〉

不当な差別的取扱い・合理的配慮の具体例』

障害者差別の解消を推進することを目的として平成 25 年 6 月に制定された障害者差別解消法。全府省庁の「不当な差別的取扱い」「合理的配慮」の具体例を収載する。障害者差別解消法の概説や関係法規も収録。

編集：中央法規出版編集部

発行：中央法規出版

本体価格：3200 円（税別）

ISBN：978-4-8058-5329-0

---

（編集後記）

- ・ 4 月 1 日から、障害者差別解消法が施行され、共用品推進機構に届くさまざまな機関誌でも特集されているものが多くあります。
- ・ 日本障害フォーラム（JDF）が作成した「障害者差別解消法ってなに？」という冊子には、この法律のポイントを、・障害を理由に差別的扱いをしてはいけない、・社会的障壁を取り除くための合理的配慮をする、と書かれています。  
また、鉄道身障者福祉協会が発行している月刊誌「リハビリテーション」4 月号には、施行されたことを評価すると共に、行政機関等は法的義務になっているが、民間事業者には努力義務に留まっている点が課題であるとの記事が掲載されています。
- ・ 更に、きょうされんが発行する月刊誌「TOM」では、障害のある人が感じた「差別された経験」を、生の声として紹介しています。
- ・ 一方、複数の民間企業の方々からは機構に、自分たちはどのようなことを行っていったらよいのかという問い合わせが増えています。
- ・ 差別を解消するための合理的配慮のより多くの事例を、より多くの機関で共有することが、その問いへの一つの答えかと思えます。（星川安之）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>  
共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>